

岡山空港利用者実態調査の結果概要について

昨年度、岡山空港において利用者からの聞き取りによる実態調査を行い、結果を取りまとめたので、その概要を報告する。

1 調査概要

対 象：岡山空港における航空機利用者及び施設利用者
 場 所：国内線及び国際線の出発・到着ロビー
 方 法：調査員による聞き取り
 時 期：平成21年5月7日から平成22年3月8日（実質184日間）

[航空機利用者の内訳]

東京	札幌	鹿児島	沖縄	ソウル	上海	グアム	北京大連	計
10,347人	433人	331人	592人	1,534人	953人	272人	400人	14,862人
69.6%	2.9%	2.2%	4.0%	10.3%	6.4%	1.9%	2.7%	100.0%

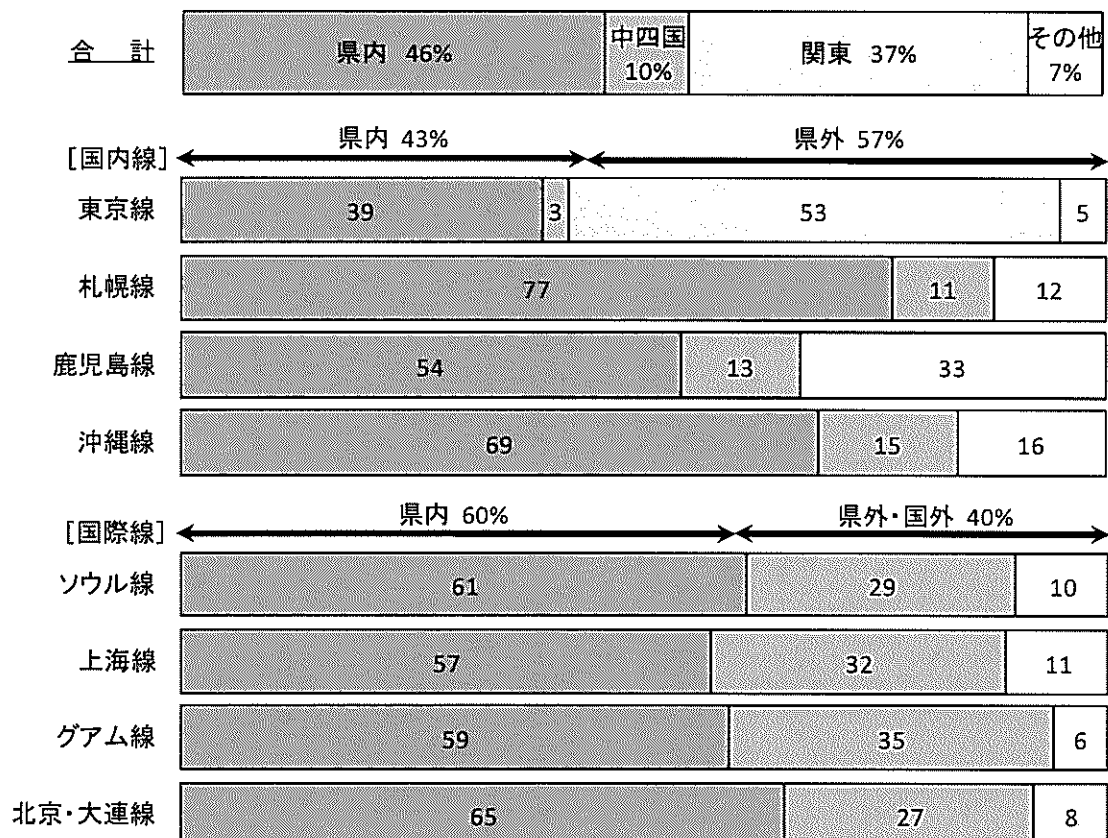
2 結果概要

(1) 居住地別の利用状況

全体では、県内 46.3%、県外 53.7%で、県外利用者の割合が若干高かった。なお、本県を除く中四国地方からの利用は約1割で、その内訳は、中国地方 5.5%、四国地方 4.3%であった。

国内線については、全体の利用者数も多い東京線で関東地方からの利用者が半数以上を占めており、その影響を受けて、全体でも県外利用者の割合が高くなった。

国際線については、各路線とも県内の利用者が概ね6割前後であり、また、中四国地方から3割程度の利用があった。



※「中四国」は岡山県を除く数値

(2) 目的別の利用状況

全体では、観光目的の利用が 32.8%、ビジネス目的の利用が 45.4%であった。
 路線別では、東京線、鹿児島線及び上海線においてビジネス目的の利用が多かったが、その他の路線では、観光目的の利用が6割を超えていた。

合 計	観光 33%	ビジネス 45%	その他22%
東京線	20	55	25
札幌線	67		21
鹿児島線	20	44	36
沖縄線	61		24
ソウル線	78		6
上海線	46	43	11
グアム線	85		12
北京・大連線	70		13

(3) 航空機利用者の交通手段

全体では、ほぼ半数が自家用車を利用しており、次いでバスが約3割であった。県内利用者に限ると、8割が自家用車であり、中四国地方からの利用者も自家用車の割合が高かった。また、関東地方からの利用者は、半数以上がバス利用であった。

合 計	自家用車 54%	バス 33%	その他13%
県 内	81		3
中四国地方	71		3
関東地方	20	54	26

(4) 東京線を利用する理由

最も多い理由は「速い」であり、次いで「アクセスがよい」、「無料駐車場がある」の順であった。

速い	アクセス利便性	無料駐車場	快適	安い	その他
48%	16%	11%	9%	9%	7%

(5) その他

- ・ 国際線の新規就航要望（有効回答：4,532件）
 アジア方面 44%（内訳：東南アジア 14%、台湾 11%、香港 9%など）、北米方面 9%など
- ・ 既存の航空路線に関する要望（有効回答：2,610件）
 札幌線の通年運航 55%、東京線の増便 20% など

3 今後の取組

- ・ 岡山空港利用者の7割を占める東京線について、県内や周辺地域からの利用者を伸ばすため、県内等の事業所を中心に利用促進に向けたPR活動を展開する。
- ・ 国際線については、インバウンドによる利用増などの取り組みを進め、定期路線の増便を働きかけるとともに、アジアのLCCを含めた新規路線の開拓に努めるため、チャーター便の誘致に取り組む。